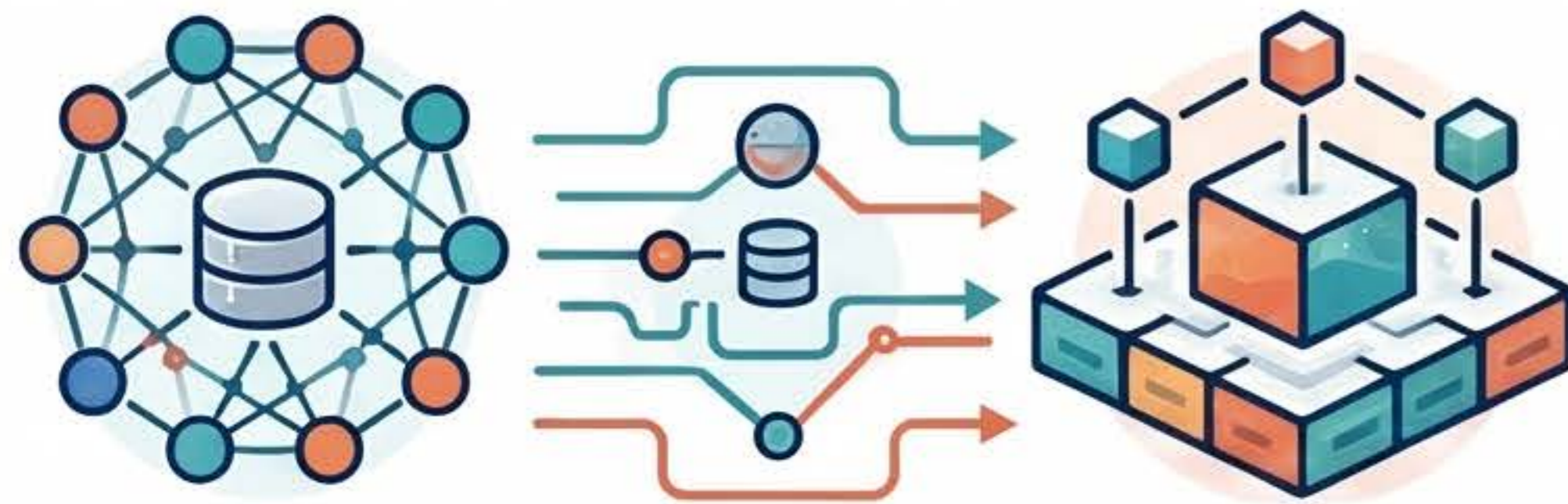


科学研究向けAIの覇権争い：主要3社の戦略・製品比較分析

2026年、科学研究AI市場は「プラットフォーム提供」「独自モデル保有」「限定アクセス」の三つ巴。
特に「Claude Science」は研究ワークフローを革新する統合プラットフォームとして台頭。

Anthropic：ワークフロー・プラットフォーム型



60+ Scientific Databases

Claude Science Platform

60以上の科学データベースを統合し、研究者の作業工程（プラットフォーム層）を最適化。

核となる強み



データベース統合・再現性

主要製品



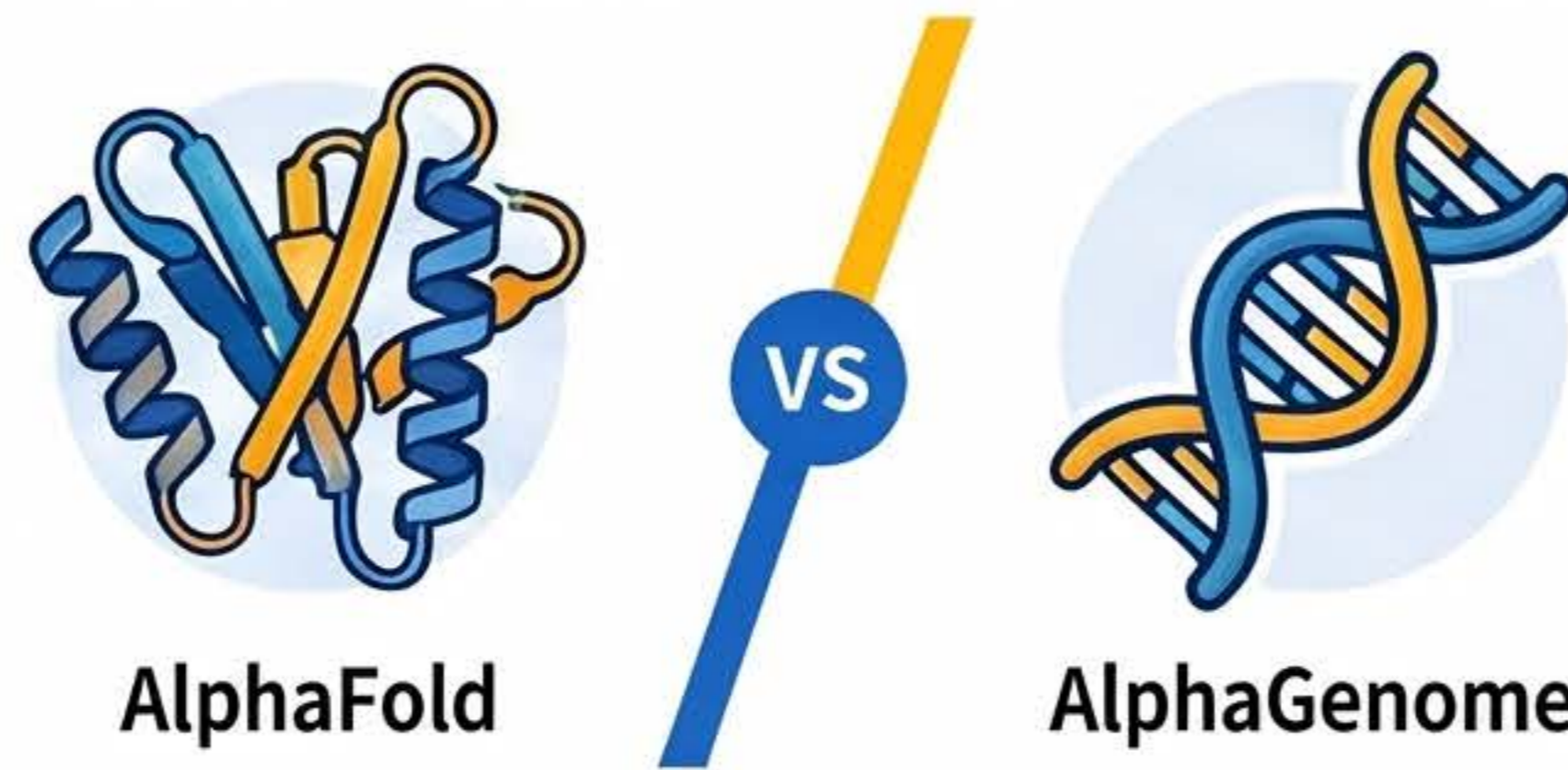
Claude Science

提供形態



広範なサブスク層へ開放

Google DeepMind：独自基盤モデル保有型



AlphaFold

AlphaGenome

AlphaFoldなど、他社が模倣できない独自の科学基盤モデルを資産として保有。

核となる強み



唯一無二の独自基盤モデル

主要製品



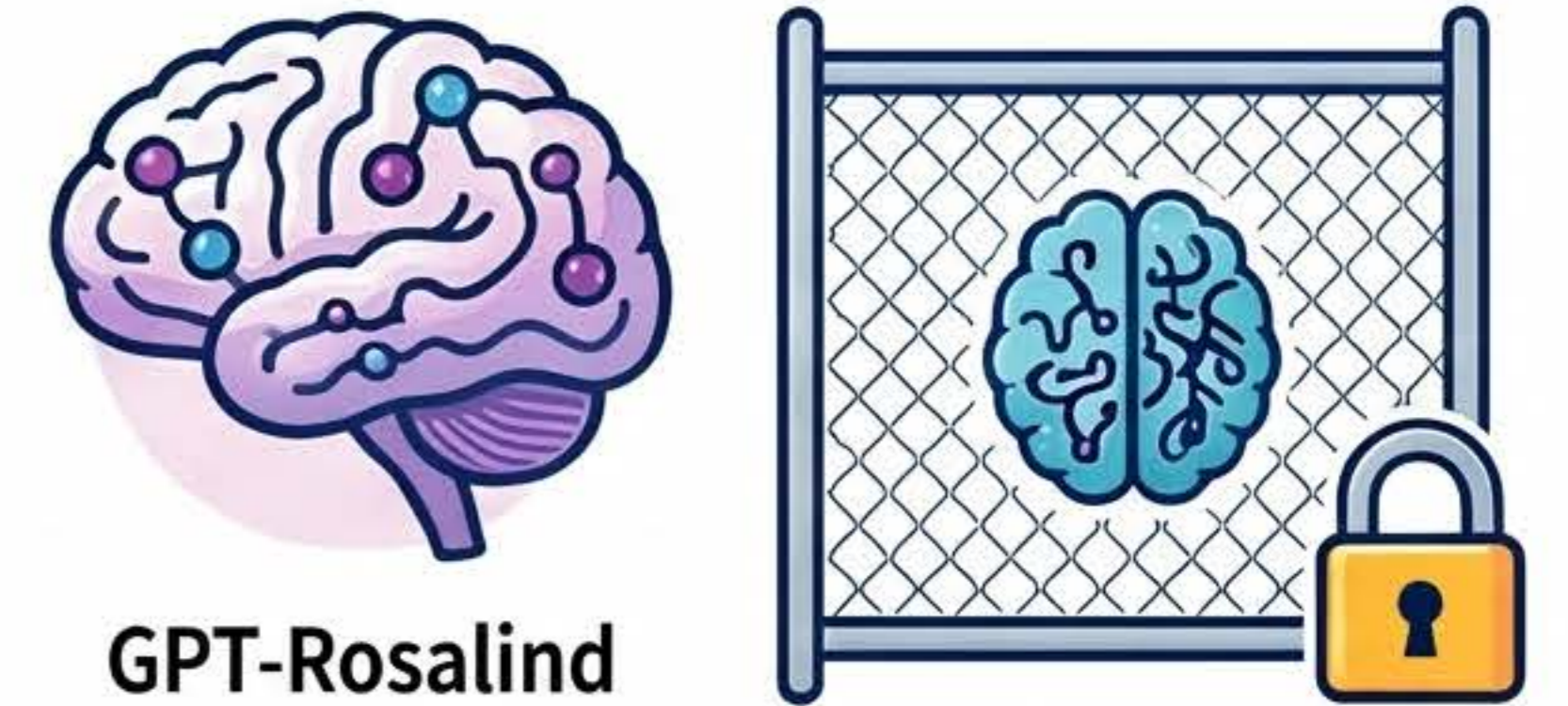
AlphaFold / AlphaGenome

提供形態



基盤モデルのツール提供

OpenAI：特化モデル+限定アクセス型



GPT-Rosalind

生物学特化のGPT-Rosalindを、審査制の「信頼されたアクセス」でのみ提供。

核となる強み



生物学的推論の特化型モデル

主要製品



GPT-Rosalind

提供形態



審査付きエンタープライズ限定

Claude Scienceの革新性と特徴



「新モデル」ではなく「ワークフロー製品」



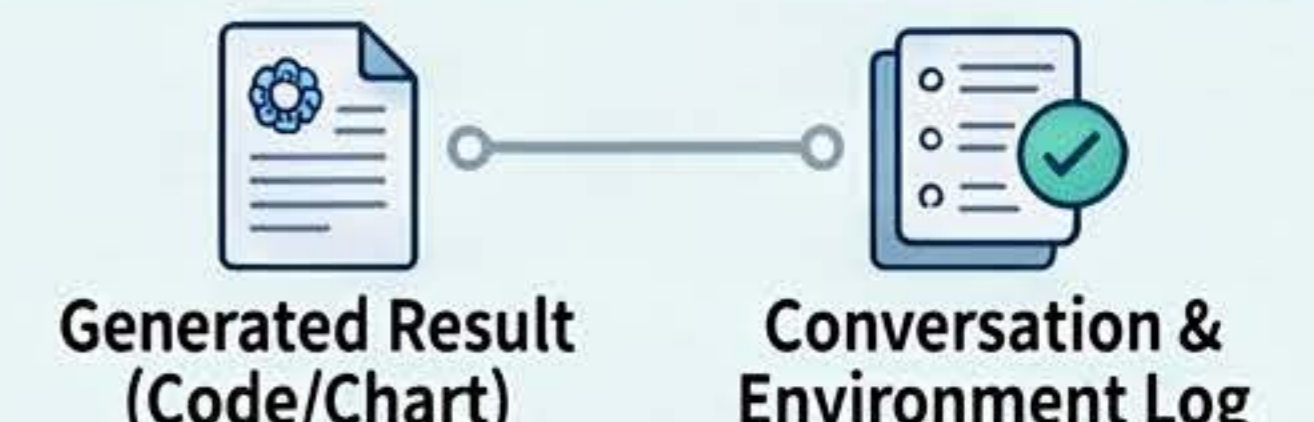
既存のClaudeモデル上で動作し、計算資源管理や監査可能な成果物生成に特化。

階層型マルチエージェント方式を採用



専門サブエージェントが各分野を担当し、レビューエージェントが計算をチェック。

科学的再現性のための「監査可能な履歴」



生成された図やコードには実行環境や会話履歴が付随し、研究の透明性を担保。